学校・家庭・地域が一体となった環境活動

高崎市立新高尾小学校

１　取り組みの概要

新高尾小学校では、各学年・学級、児童委員会での活動など学校全体で環境教育に取り組み、さらにＰＴＡ、地域の方々と一体となって日高米作りなどの環境活動を行っています。

２　令和７年度の活動内容

（１）環境美化活動

〇各学年・学級による活動

・学年花壇の整備

・ゴミの分別（紙用・プラスチック用ゴミ箱の設置）

・節電・節水への取り組み（コップで歯磨き・雑巾洗いはバケツを使用）

・余ったプリント用紙のリユース

〇児童委員会による活動

・エコキャップ運動

ボランティア委員会が全校に「世界の子供たちのためにワクチンや薬を送るためにペットボトルのキャップを集めよう。」と呼びかけ、回収に取り組みました。今年度もたくさんのご家庭に協力をいただき45ℓの袋に 16 袋分（約 190 kg）約 95 人分のワクチンに相当するペットボトルキャップが集まりました。

・緑の少年団

ＰＴＡの環境部と連携して校内緑化事業として取り組みました。一年を通して花が絶えないように、苗や球根の植え付けをして花壇整美に取り組みました。ペンタス、パンジー等の花を植えて、毎日水をあげて世話をしました。草むしりや落ち葉集めにも取り組みました。

・校舎内環境の整備

ボランティア委員が学校を周り、ゴミの落ちていないきれいな教室や廊下を発表してゴミ拾いを奨励しました。

・うさぎの世話

飼育している２羽のウサギの世話や飼育小屋の整備をしています。給食室から野菜の切れ端をもらって餌に利用しました。

〇ＰＴＡによる美化活動

ＰＴＡ環境部と連携し、校内緑化事業として季節の花の植栽や花壇整美に取り組んでいただきました。また、ベルマーク、インクカートリッジのリサイクル運動もしていただきました。

（２）学年・学級の取り組み

環境教育のねらいをもって、植物を育てたり、環境について考えたりして学びました。

＜１、２年生＞生活科「あさがお」「ミニトマト」の生長

花、野菜を毎年一人一鉢育てました。1 年生は「アサガオ」２年生は「ミニトマト」を育てる体験を通して、植物に興味・関心をもち、育つために適した環境について学びました。

＜３年生＞総合的な学習の時間「発見!やさいのひみつ」

ナス、ピーマン、オクラ、キュウリの生長について調べたり、考えたりしながら育てる活動を通して、野菜を食べることが自分の体にとって良いことに気付き、これからの生活や学習に生かせるように食生活を見直しました。また、秋のフォレストリースクールでは、校庭の樹木を観察し、講師の方から専門的な話をお聞きして自然への関心を広げました。

＜４年生＞社会科「くらしの中の水」「わたしたちのくらしとごみ」

浄水場やクリーンセンターを見学したり、学習したことを新聞にまとめたりすることを通して、身近な環境と生活との関係を知り、学んだことを今後の学習や生活に生かせるように話し合い、周りの人に発信しました。

＜５年生＞総合的な学習の時間「日高米をつくろう」

昔から新高尾地区の方々が大切に栽培している「日高米」。地域の方の指導を受けながら、種を発芽させ、稲刈りから脱穀まで１年間を通して学習しました。「日高米作り」を通して、この地域が米作りに適した環境であることに気付き、人々が協力して大切にお米が作られていることを学びました。

＜６年生＞家庭科「校内クリーン作戦」

掃除の仕方を工夫した「校内クリーン作戦」を実施し、新高尾小学校の環境改善のためにできることを考えて実践しました。

＜ゆうあい学級＞生活単元・自立活動「野菜をそだてよう」

ナス、キュウリ、トマト、とうもろこし等の種まきや苗植えをして育て、収穫して食べる活動をしました。野菜の生長を楽しみにしながら観察し、毎日の世話の大切さに気付き、収穫の喜びを感じることができました。また、野菜栽培に関心をもち、野菜を食べることは自分の体にとって良いことに気付き、食生活を見直すことができました。

３　取組の見直し及び今後の活動

環境についての授業実践や委員会活動だけでなく全教育活動を通して、環境について関心をより高められるようにするとともに、地域やＰＴＡの方々と協力しながら、学校・家庭・地域が一体となった活動として取り組むことを目指していきます。